



お知らせ

- # ヴォーリス六甲山荘 一般公開最終日 11月14日(日)
- # ヴォーリス六甲山荘 大掃除&お疲れ様会 11月20日(土)
- # ヴォーリス建築文化全国ネットワーク大会 11月23日(火・祝) ヴォーリス学園(近江八幡)
- # 「モダン建築の京都」を見にいきましょう 12月9日(木) 京都市京セラ美術館
- # 新年会(関西) 2022年1月10日(月・祝) 草志舎

文化遺産活動の支援事業を目的とする一般社団法人 AMENITY CREATIVE SUPPORT CENTER (通称 AMENITY CSC) は9月1日に設立登記し、正式に成立しました。現在の会員数は20名でのスタートです。以下に貴島理事長の挨拶を掲載いたします。

一般社団法人 AMENITY CREATIVE SUPPORT CENTER の誕生

2021年9月1日に一般社団法人 AMENITY CREATIVE SUPPORT CENTER (通称 AMENITY CSC) が産声をあげました。アメニティ家にとって三男坊の誕生です。

一番上のお兄さんは、20歳も年がはなれていて早くから高い志を持って日本のナショナルトラスト運動を通じてやさしい文化の創造に取り組んでいます。失われかけた歴史的資産であるヴォーリス六甲山荘の保存活動に名乗りを上げて維持管理をし、見事に創生を果たしています。責任感が強く面倒見がよく兄弟を取りまとめるリーダーシップを持っているので、大変頼りがいのある兄です。世間では、長男を総領の甚六などと揶揄することもあります。この長男は親父と言っても良いぐらいの存在感があります。

二番目のお兄さんは、一つ年上ですが勉強が大好きで、闊達に議論をして環境保護運動の新しい道を探し求めています。多くの領域の方々と意見を交換し新しいヴィジョン創りに挑戦して長兄を助けています。

すでにお気づきの通り、長兄の名は「アメニティ 2000 協会」、次兄の名は「文化遺産信託研究会」です。三男の「AMENITY CSC」は、この二人のお兄さんに囲まれて誕生しました。

三兄弟は、「文化遺産の保存・継承」という一つの大きな屋根の下で、それぞれの役割を分担し、お互いに助け合いながら棲み分けをして暮らしています。

さて、AMENITY CSC の役割についてのお話です。

事業目的の一つに、「アメニティ 2000 協会の事業拡大につながる周辺業務の開発・推進」を掲げています。

認定 NPO 法人であるアメニティ 2000 協会は、税制上の優遇措置の認定を受けていますので、寄付金収入が収入全体の5分の1以上でなければならないと定められています。そのため収益事業を行うこと自体は認められているものの、そこには自ずから限度があり財政基盤は寄付金収入に頼らざるを得ない構造になっています。このような制約を補完し協会の基盤を強化する必要性から、新しい収益事業を展開できる一般社団法人の設立が喫緊の課題になっていました。そしてこの度、協会の20周年の記念事業の一環として設立に至った次第です。

新しく取り組む事業につきましては、既に運営委員会を立ち上げいろいろな案件を俎上に載せて検討を加えています。“掘り出し市への参加” “通信販売の拡販” “草志舎の公益法人化への調査” “(仮称)「倶楽部 AMENITY」の企画” “アメニティ 2000 協会の図書・資料等の管理システムの受託” “六甲山荘の敷地の有効活用” “山荘の有効活用(定期的な行事・サテライトオフィス)” “六甲山上の他の施設(森の音ミュージアム等)との連携” “クラウドファンディング業務の開発” “歴史的建造物のための建築設計業務関連” “相続対策、有形無形遺産保存対策のコンサルタント” “不動産仲介業務(業務提携)” “旅行企画(業務提携)” など。

委員会の皆さんは、事業化・収益化に向けてそれぞれ知恵をしばり活発な議論を展開しています。アメニティ 2000 協会の皆さんも会員になっていただいて新しいアイデアを提供いただければ幸いです。

ご協力のほどよろしく願いいたします。

和のこもの展

春の行事として人気の高い和のこもの展はコロナのため開催を見送ってきましたが、この秋ひさしぶりに開催されます。主催者のあしやクローバーの皆さんが 会場が密になるのをさけるための工夫を考え、特定の時間帯に集中するのを防ぐため、時間帯をわけてご来場いただくことにしました。

1. 11月17日(水) 10時半から12時
2. 11月17日(水) 13時から14時半
3. 11月18日(木) 10時半から12時
4. 11月18日(木) 13時から14時半

そこで 和のこもの展に参加を希望される方は上記の時間帯のうちご希望の時間帯を、第1から第3希望まで書いてFAXか電話でお知らせください。こちらで振り分けをして、あらためて時間帯を指定した案内ハガキをお送りします。当日会場にはそのハガキをご持参いただきますよう お願いいたします。久しぶりの和のこもの展、楽しみですね。

新年会

コロナが下火の傾向にあるようなので、2022年の正月に新年会を開こうと企画しています。感染対策はしっかりとりつつ、気兼ねなく交流の場となることを願っています。

日時 **2022年1月10日** (月・祝) 12:00~14:00

場所 草志舎

参加費 1000円

参加ご希望の方は1月7日までにご連絡ください。

なおコロナの感染状況によっては、中止とさせていただく場合もあります。



2019年の新年会風景

ご報告 室谷邸記念館開館特別企画 10月13日(水)~17日(日)

4月に完成した室谷邸記念館ですが、完成記念のお披露目会がコロナのため延び延びになっていました。10月にあらためてテノール歌手の畑儀文さんとハーブ奏者の春木浩子さんをむかえて記念会を開く心づもりをしていましたが、それもかないませんでした。ですが13日(水)から17日(日)まで連続公開をすることにしました。平日に公開したため、週末には来られないというお客さまが来られて、にぎわいました。

5日間来場者：71名



ご報告 ほりだし市 11月3日(水・祝) 草志舎

天気もよくあたたかな日で、オープンとともにたくさんのお客さまが来られました。午後からは門前にも売り場を作ったところ、足を止める人がおおく、15時の閉場まで途切れずお客さまが来てくれました。お昼ごはんには山荘カレーを出しましたが、好評でした。



ご報告 畑儀文の合唱教室 10月25日(月)

久しぶりの合唱教室で、皆さんはりきって歌っておられました。みんなの声と心が重なる合唱は歌うのも聞くのも楽しいですね。リモートでは味わえない喜びです。

文化遺産信託研究会の活動報告

第1回フィールドワーク・篠山 10月23日(土)

研究会の第1回フィールドワークは篠山を訪問しました。重要伝統的建築物群保存地区である妻入商家群近くの古民家の改修現場を見学させていただき、その場をお借りして、レクチャーを受けました。とくに印象深かったのは前篠山副市長の金野幸雄さんのお話でした。古民家を修繕して個別型高級ホテルとして活用するという手法で、建物が守られ、町並みが守られるという取り組みを全国に先駆けて実践した。篠山の成功例が全国に展開されていると誇らしげに語ってくださいました。

参加者：19名

改修中の古民家→



六甲山荘たより

8月～9月

8月は公開は4日間のみ、9月は全休館となりました。ただ休館中に団体が2件、宿泊が5件ありました。せっかくの夏別荘の良さをもっと皆さんに楽しんでいただきたかったです。

募金のご報告 8月～9月

8月～9月に次の方々から募金をいただきました。ありがとうございました。(敬称略)

*文化遺産継承基金

《8月、9月合計 143,687円
2021年度累計 547,203円》

六甲山荘作業 8月～10月

室谷邸記念館と旧道石垣との間に石庭をつくる作業は8月から続けてきましたが、ようやく完成しました。掘り起こした石と砂利を敷き、ツツジや芙蓉を植え、花と石との庭になりました。



ほりだし市風景



草志舎の塀に貼った呼び込みチラシ



門の外の出店も人気



ただいま開店準備中

室谷邸記念館横の石庭

